生涯学習関連施設 業務評価シート

地域学習センター　　施設名/足立区保塚地域学習センター・図書館

【評価対象年度】令和7年度　【自己評価】令和8年4月5日　【評価委員会】令和8年8月18日
【評価点】水準を大きく上回る：5点　水準を上回る：4点　水準どおり(水準クリア)：3点
水準を下回る：2点　水準を大きく下回る：1点

大項目	中項目	確認項目		評価点×2		
		協定や事業計画に沿って適切に管理が行われているか(評価点×２)		指定管理者	担当課	評価委員会
1 管理状況	A 適切な管理の履行	1	施設運営業務等が適正に実施されている ◆計画どおりの開館、利用者対応、予約受付　など	5.0 (×2)	5.0 (×2)	26.8 (満点30点)
		2	職員の勤務状況・体制が適切である ◆適正な人員配置　など	5.0 (×2)	5.0 (×2)	
		3	人材育成の取り組み（意識、接遇の向上） ◆定期的な業務実施手順見直し、研修の実施　など	5.0 (×2)	3.0 (×2)	
		指定管理者記入欄	【アピールポイント】各種予約システムが一新されることを受け、利用者の方へのサービス低下を招くことなく、安定した窓口業務となるよう全スタッフ対象にきめ細やかなシステム研修を実施。マニュアルだけでなくセンター独自に研修計画シートを作成することで、今現在「できている点」・「できていない点」を本人だけでなく指導者側も認識し、習熟度の可視化が向上することで的確かつ迅速なスキルアップに繋げることができた。さらには接遇向上を目的としたオープン型研修を実施。一般の参加者とセンタースタッフに加えて、連携団体も参加いただくことで、異なる環境に身を置く方とスタッフが共に受講するということで刺激となり、地域の方々とのコミュニケーションに繋がる能動的なスキルアップ研修とすることができた。			
			【改善すべき点･課題等】今後も適正な人員体制のもと人材育成に真摯に取り組み、一方的なサービス提供に陥らない、相手の心情をくみ取る心の通った接遇を大切にすることで、安定した質の高い施設運営を実現していきたい。			
		区記入欄	【特記事項】項目1について、本社マニュアルを用いた研修とセンター独自の研修計画シートにより、新システム稼働時の習熟度を可視化し新システム稼働を円滑に完遂した。また、利用者がわかりやすいよう簡易的な説明書の作成を行い利用者へのサービスを強化した点を評価し2点の加点とする。項目2について、児童の利用が多い夏季休暇期間に、複合施設である児童館との情報共有の強化とルールを明確にすることにより、一貫した児童対応を実現した。安全な施設管理に努めた姿勢を評価し2点加点する。項目3について、令和6年度に引き続き、開放型研修を実施した。令和7年度は新たに連携団体を加え実施したが、その効果が認められなかったとして加点は行わない。			
		評価委員記入欄	【評価すべき点】新システムについて、シートによる職員の習熟度の可視化および利用者がわかりやすいよう簡易的な説明書の作成を評価する。また、夏休み期間の児童館との週1回の意見交換や日報の相互共有など、複合施設一体の情報共有体制を構築し、多数の児童が来館した際でも事件・事故を未然に防いだ。接客への苦情は0件である。 【改善すべき点】開放型研修は地域包括支援センターのケアマネジャー等を交えた形に発展したが、地域団体の参加が施設運営に与えた効果の検証はこれからであり、研修成果の業務への定着を確認していきたい。 【その他注意点】			

			評価点		
B 安全性の確保	**施設の安全性は確保されているか**		指定管理者	担当課	評価委員会
	1	施設・設備の点検が計画通り行われ、不具合等に適切に対応している ◆日常点検、定期点検の実施、不具合発生時の対応　など	5.0	5.0	17.0 （満点20点）
	2	施設・設備の経年劣化に対応している ◆設備状況の把握、改修・修繕提案　など	3.0	3.0	
	3	利用者が快適に利用できるよう、施設の管理が適切に行われている ◆日常清掃、定期清掃の実施、外溝・駐車場の管理　など	5.0	5.0	
	4	危機管理（防災・防犯・事故対応）が適切に行われている ◆防火管理者、防火管理計画、防災訓練の実施、鍵の適正管理 マニュアルの策定と周知　など	5.0	4.0	
	指定管理者記入欄	【アピールポイント】施設外周の一角を子どもが荒らしてしまう状況を改善すべく、そのスペースを活用した花植え計画を実施。環境美化を促進するとともに、施設従事者が花植えするのではなく普段施設を利用している子どもとともに行動を起こすことで、施設の愛着度を育む機会を創出。植え込む花も利用者に加えて近隣地域イベントにて投票形式で決めることで、センター・地域を巻き込んだ施設利用環境のイメージアップに繋げることができた。また、施設利用者を対象とした設備・備品の聞き取り調査を実施。この取り組みにより、センタースタッフでは見落としがちな細かな不備を早期に把握することができ、利用者とセンターが一体となった予防保全を実現。さらには、指摘事項に対して早急に対応することで利用者との強固な信頼関係を構築することができた。			
		【改善すべき点･課題等】複合館一体となった災害対策では、館全体として有事の際に迅速かつ的確に対応できる連携体制の構築を図った。さらには、外国にルーツがある方も災害についての意識を高めてもらうために、日本語ボランティアの方々と連携して避難訓練（地震体験など）に参加いただくなど、今後もセンター全体として、多様化する施設利用の方々が安心かつ安全に利用できる危機管理意識の高い施設運営に取り組んでいきたい。			
	区記入欄	【特記事項】項目1について、詳細点検日を設けたことによる施設予防保全の実現と、利用者の声を反映する体制を構築し、信頼性と満足度を高めた管理体制を評価し2点の加点とする。項目3については、利用者投票を実施し、施設外周のスペースに投票で上位に選ばれた花を植えた。その取り組みと利用者に環境美化に対する意識を持たせた点を考慮し、水準点に2点の加点とする。項目4について、ボランティア等と協力し、外国人の方でも避難訓練に参加できるよう調整を行った点を評価し、水準点に１点の加点とする。外国人の避難訓練参加により得られた知見を活かした今後の施設運営に期待する。			
	評価委員記入欄	【評価すべき点】利用者へのヒアリングとチェックリストに基づく詳細点検により施設予防保全を実現させた。さらに子どもが荒らしていた施設外周のスペースを利用者投票と子どもたち自身による花植えの場に転換し、以後同スペースを荒らす事象がなくなるなど施設管理について、利用者の声を反映する体制と満足度を高めた点を評価する。タスクカードを複合館全体に拡大した避難訓練では、日本語ボランティアと連携して外国籍の方で14名の参加を実現した。 【改善すべき点】フリースペースの防犯面や、館の周囲・入口付近での子どもの危険な遊び（追いかけっこ、塀に登る等）に関する苦情が複数寄せられている。巡回や監視カメラでの注意では根絶に至っておらず、複合施設全体での見守り体制の強化と環境面の工夫を求める。また外国人の避難訓練参加により得られた知見を活かした今後の施設運営以外の他の取り組みについては総括的には令和6年度との違いが見えないためさらなる工夫を期待する。 【その他注意点】			

C 法令等の遵守（※倫理性も含む）	**個人情報保護､各種法令等は遵守されているか**		評価点		
			指定管理者	担当課	評価委員
	1	個人情報保護の取り組み ◆内部規定の策定、研修の実施　など	3.0	3.0	9.0 （満点15点）
	2	個人情報事故への対応、適正管理 ◆個人情報に関する事故が発生しなかったか	3.0	3.0	
	3	各種法令等の遵守 ◆労働基準法、公契約条例等の関係法令は遵守されているか	3.0	3.0	
	指定管理者記入欄	【アピールポイント】年度当初に打ち立てた研修計画に加えて、研修案件が発生した際には即座に対応し、個人情報・接遇・人権に関することなど、現場と本社一体となって取り組む事で法令違反となる事例を一切発生させなかった。			
		【改善すべき点･課題等】現状に安穏とするのではなく、常に危機管理を怠らず教育研修を計画的に実施し、日々の業務に全スタッフが誠実に取り組むことで、健全な管理運営を確保していきたい。			
	区記入欄	【特記事項】個人情報保護およびコンプライアンス遵守に努め、個人情報漏えい等の事故は発生していない。引き続き研修等を実施し、適切な管理運営と法令遵守を心掛けてほしい。			
	評価委員記入欄	【評価すべき点】法令違反・個人情報事故とも発生しておらず、個人情報研修（年4回）に加えカスハラ・人権等の研修も計画通り実施されている。 【改善すべき点】 【その他注意点】			
D 適切な財務・財産管理	**適切な財務運営・財産管理が行われているか**		評価点		
			指定管理者	担当課	評価委員
	1	適正な財政状況及び経理処理を行っている ◆令和7年度収支　(2,913千円) ◆経理の明確な区分、経理担当者の配置、帳簿、関係書類の整備　など	3.0	3.0	3.0 （満点5点）
	指定管理者記入欄	【アピールポイント】新たな事業や積極的な外部への出張事業の展開に加えて、各種予約システムが一新されるなか、適正かつ的確な人員体制を確保することで高い区民サービスの提供を実現し、安定した経営とすることができた。			
		【改善すべき点･課題等】効果的な広報活動や既存事業の見直しにより中止講座も少数にとどまるなど安定した講座運営とすることができた。一方で人件費や材料費など業務運営費が上昇している環境のなか、サービスの低下を招くこと無く業務の効率化を図り、健全な経営のなかで新たな取り組みにも挑戦していきたい。			
	区記入欄	【特記事項】経理に関して厳密に作業を行い、施設利用・講座等の入出金総受付件数が4,928件であったのに対し、ミスは0件であった。問題なく健全な財務管理がなされているため、引き続き適切な財政状況の維持に努めてほしい。			
	評価委員記入欄	【評価すべき点】収支は黒字を確保し、入出金は総受付4,928件に対しミス0件と適正な経理処理が行われている。 【改善すべき点】 【その他注意点】			

大項目	中項目	確認項目				
2 事業効果	A 学習事業の取り組み	**仕様書や事業計画に沿った学習事業が提供されているか**		評価点		
				指定管理者	担当課	評価委員
		1	利用促進に向けた取り組み（広報・PR等） ◆ホームページ、ＳＮＳ、ミニコミ紙の充実、外部媒体の活用 など	5.0	5.0	20.0 （満点20点）
		2	A型事業（基本的な生涯学習事業）の企画・実施・成果 ◆Ａ型事業の企画・実施・成果	5.0	5.0	
		3	B型事業（重点事業）の企画・実施・成果 ◆B型事業の企画・実施・成果	5.0	5.0	
		4	C型事業（拡張事業）の企画・実施・成果 ◆C型事業の企画・実施・成果	5.0	5.0	
		指定管理者記入欄	【アピールポイント】SNSにおいて静止画だけでなく内容が伝わりやすい動画を多数投稿し、講座の魅力をアピールするとともに、新規講座受付時を狙ったInstagramキャンペーンの実施やこまめな講座報告投稿により、フォロワー数を大幅に増加させた。令和6年度に発生したミニコミ紙の誤植（二次元バーコードの不明瞭）については印刷入稿時の確認作業に加えて、刷り上がった印刷物においても徹底した確認作業を再度実施することで、令和7年度の発行物すべてにおいて誤植発生件数0件とすることができた。また、夜間講座を積極的に開催し就労世代の利用率を上げるとともに、アウトリーチ事業も数多く展開し、遠方へ出かけにくい子育て世代やセンター未利用者の掘り起こしに繋げることができた。さらには、ステップアップを見据えた新規講座の開催や連続参加者に新たな学びの場を提供することによって継続参加に結び付く工夫も行っている。 【改善すべき点･課題等】Instagram登録者は比較的センター利用が少ない30～40歳代が中心となっているため、SNSを効果的に活用することにより利用に繋げていきたい。調理室がないため開催が限られる食育、特に「楽ベジ」にも力を入れ、今後は季節を感じられる四季折々の食育を展開していきたいと考えている。今後は市場調査やアンケートを分析し、利用者の興味・ニーズに沿って企画・施設運営を行うともに、事業や勉強会で連携を得た団体と協力した新たな事業案を練っていきたい。			
		区記入欄	【特記事項】項目1については、SNS動画や属性別チラシ配布、外部連携等の多角的な広報により、認知度向上と利用促進に繋がった点を評価し2点加点とする。また令和6年度、ミニコミ紙掲載の二次元コードが読み取りできない状態で発行された件について、印刷前後の点検を徹底するなどの対策をとり、令和7年度は同様の誤植はないことから改善したと考える。項目2について、社会人を対象にした夜間講座など利用者ニーズを参考にした多種多様な新規講座の実施により、生涯学習の推進に貢献したとして水準点に2点の加点とする。次年度はターゲット層に向けた、広報手法の工夫による利用促進に期待する。項目3については、施設内の中庭を活用した上映会の実施や関連企画により、5カ年事業の機運を醸成。単なる上映会で終わらせず、お茶会やワークショップで交流と体験の場を創出。他館にない独自の地域連携手法を評価し2点加点とする。項目4については、現役声優によるアテレコ体験により、職業への関心を高める質の高い講座を展開。評価指標である継続受講率7割以上を達成しており、高い満足度と成果を評価し2点加点とする。次年度の継続的な実施に期待する。			
		評価委員記入欄	【評価すべき点】広報について、コラボ展参加者出演によるPR動画撮影、インスタフォロワーキャンペーンなど積極的に広報に取組み、令和6年度からInstagramフォロワー数約45%増・リーチ数約30%増と広報が成果を上げ、事業数・新規事業数・センター初利用者数もいずれも目標を上回った。また前年度減点となったミニコミ紙の誤植は再発防止策が機能し発生0件と改善された。働き世代向けの夜間講座では、男性集客ができた。アウトリーチ講座では商店街にて、大学生が開催しているサロンと連携するなど、広がりを評価する。その他、子どもの未来応援となる講座、親子向け講座についても新規に拡充したことを評価する。特にプロの声優を招いての講座は、多様な表現ができるようになるだけでなく、キャリア教育ともなっている。新規開拓と継続学習の両面で成果が確認できる。 【改善すべき点】8年度はターゲット層に向けた広報手法の工夫と利用促進に期待する。 【その他注意点】利用者の質問から即時に企画したスマホ撮影講座（定員超の応募）のように、ニーズを機動的に事業化する姿勢は他館の参考となる好例である。			

			評価点		
	施設・地域特性に配慮し、適切な学習支援を行っているか		指定管理者	担当課	評価委員
B 学習支援の取り組み	1	生涯学習コーディネート、サークルや個人利用者への支援の実施・成果 ◆学習相談、支援事業の実施、発表の場の提供・拡充　など	5.0	5.0	13.8 （満点15点）
	2	区内施設、団体との連携 ◆地域団体、区内施設との連携　など	5.0	5.0	
	3	地域特性の配慮、人材の活用 ◆区内人材活用、地域資源の発掘、ボランティア活用　など	5.0	3.0	
	指定管理者記入欄	【アピールポイント】例年ふれあいまつりではチラシ・ポスターで日時やプログラムの告知を行っていたが、まつり発表者についても来場者に知っていただきたいと考え、まつり参加団体すべてが出演するPRビデオを作成した。センターサイネージやInstagramで公開してまつりの機運を盛り上げ、登録団体のモチベーションアップ、周知に役立てた。またサークル支援講座の他、活動中のサークルに飛び入り参加可能なお試し・見学会を開催するとともに、日頃の成果を地域に還元するイベントへの後押しも行った。昨年度は一部講座の準備・片付けであった子どもボランティアの「ちょいボラ」を夏休み居場所事業にも拡大、清掃の手伝いや花壇の花植えなど活動の幅を広げ、自分の力が人の役に立つ喜びを知り、センターへの愛着を育てる一助とした。			
		【改善すべき点･課題等】講師・会員ともに高齢化が進む一方、少子化による会員数減少もあり、サークル活動の維持が難しくなる中、SNSの活用などによってPRの幅を広げる他、対面による聞き取りや活動動向を注視することできめ細かいサポートを行い、維持および新規登録へ繋げていきたい。また、参加者が減少している大学生の見守り学習室の活動を見直し、イベント時のワークショップや子ども向け企画の立案など、待ち受けるだけではないボランティア活動へ展開していきたいと考えている。			
	区記入欄	【特記事項】項目1については、PR動画でサークルの雰囲気を可視化し、見学会により参加のハードルを下げる等の多角的な取組みにより入会者が増加した点を評価し2点の加点とする。項目2については、他団体への積極的な声掛けにより連携体制を構築し、「インスタ動画作成講座」を開催。若年層向けと予想された講座であったが、60歳以上のシニア層が占め、新たな関心層を掘り起こしたことを評価する。新規連携先との協力のもと、利用者にとって興味深い事業を展開したとして2点加点とする。項目3について、例年行っている淵江高校ボランティア・サポートチームとの連携イベントを令和7年度も実施した。「巨大すごろく」や「なぞとき」など令和6年度と同じプログラムについても内容を一から刷新してはいるものの、全体を通して昨年度からの違いはあまり見られないとして加点は行わない。			
	評価委員記入欄	【評価すべき点】サークル支援講座とミニコミ紙特集記事の連動により実施した7団体すべてで入会者を獲得した。ふれあいまつり参加13団体によるPR動画は連帯感の醸成にも寄与している。東京藝大のアート集団や食育協会など新規連携先を開拓し、淵江高校ボランティアについては準備に半年をかけた共同イベント（延べ参加77名）を実現しており、継続して実施できている点ならびにボランティア内容の増加を評価する。 【改善すべき点】サークルお試し・見学会は参加5名・入会1名にとどまった。指定管理者も課題と認識しているとおり、支援講座との役割分担の明確化と既存会員によるフォロー体制の整備を期待する。 【その他注意点】半年かけて学生と準備を進める学生ボランティアとの連携事業について、発展を期待する。			

			評価点		
C 図書館事業の取り組み	**仕様書や事業計画に沿った図書館事業が提供されているか**		指定管理者	担当課	評価委員
	1	図書館の館内配置の工夫やPR活動の企画・実施・成果 ◆館内配置の工夫、レファレンスサービスの企画・実施・成果　など	5.0	5.0	10.0 （満点10点）
	2	読書推進活動の企画・実施・成果 ◆読書推進活動、連携事業の企画・実施・成果　など	5.0	5.0	
	指定管理者記入欄	【アピールポイント】令和7年度から新たに、図書館だけでなく学習センターと連携したおすすめ本の特集を実施。施設一体となった取り組みが利用者から好評を得ており貸出し増加に繋げることができた。 事業としては科学実験や手品講座等子どもが興味を示す内容とすることで、多くの参加者を得るとともに、出張おはなし会に多くのご要望をいただき、回数、参加者ともに前年度比増となった。			
		【改善すべき点･課題等】通常の館内で実施するおはなし会の参加者数が伸び悩んでしまった。上記の通り出張おはなし会については大変好評であることから、この機会を活用した積極的なPRを展開して来館とおはなし会への参加促進に繋げていきたい。			
	区記入欄	【特記事項】項目1について、全スタッフによる「超個人的おすすめ本」棚の設置や寄贈絵画の展示により、展示の活性化や来館促進、居心地の良い空間づくりに取り組んだとして水準点に2点の加点とする。項目2について、、科学や手品を題材とした講座や小学校への出張事業を通じて新規利用者の来館に繋げるとともに、関連本の紹介や展示により資料貸出の促進を図るなど、子どもの読書のきっかけづくりや利用促進に努めている点を評価し、2点の加点とする。			
	評価委員記入欄	【評価すべき点】図書館・学習センターの全スタッフが担当する「超個人的おすすめ本」棚は、貸出増に加えスタッフの当事者意識向上という効果も生み、利用者からも好評である。高齢者認知機能検査の資料要望で工夫した対応は、すべての人に求める情報を提供するという公共図書館の使命を体現するレファレンスの好例として評価でき、展示の活性化や図書館利用のための多角的な工夫がなされているといえる。事業においても手品と本を関連させる講座など、地味であるが大きな効果のある取り組みがなされていると考える。出張おはなし会でのチラシ配布は図書館未利用児童の来館に結びついた。 【改善すべき点】館内で実施するおはなし会の参加者は伸び悩んでおり、好評な出張おはなし会を活用した来館促進を期待する。館内の私語・居眠り等マナーに関する苦情には引き続き丁寧な対応をお願いしたい。 【その他注意点】			

			評価点		
D 利用の状況	**適切な利用状況となっているか （環境の変化など外部要因を考慮）**		指定管理者	担当課	評価委員
	1	学習施設・体育館等の利用状況が基準を達成している ◆利用率の基準値超 利用率基準値/学習施設44% ＜参考＞目標値（前年度利用率57.6＋3%）　学習施設60.6%	5.0	5.0	7.0 （満点10点）
	2	図書館の利用者数及び貸出冊数が基準を達成している ◆利用者数・貸出冊数の基準値超 利用人数（161,460人）　※基準値/154,060人 貸出冊数（182,119冊）　※基準値/196,064冊	2.0	2.0	
	指定管理者記入欄	【アピールポイント】 （センター）施設利用の乏しい時間帯（夜間）や貸出施設を活性化させるべく新規講座やサロン型事業の充実を図った。さらには広報の工夫や講座内容の見直しに加えて、対象者によっては従来の事前申込みだけでなく、当日受付・支払いも可能とするなど柔軟な受付形態も取り入れることで中止講座の減少に結び付けた。また、既存の団体利用の方々への支援に加えて、アウトリーチ事業の積極的な展開により施設認知度を向上させたことで施設の新規団体利用も増加。その結果、全ての貸出施設の利用率を向上させトータル3%を超える大幅な増加という成果を得ることができた。			
		【改善すべき点･課題等】 （センター）この流れが確かなものとなるよう、既存団体へのサポートや継続して実施している講座についても見直しに加え、新規利用者の開拓も継続して行い、さらに既存利用者と新規利用者との融合を図ることで施設利用の継続的な活性化を目指していきたい。 （図書館）前年度大きく増加した数値と比較し、いずれの数値も減少傾向となってしまった。読書活動推進、分野間連携といった事業、そして出張おはなし会などの機会を捉え、改めて読書の楽しさを伝えられる取り組みに注力していきたい。			
	区記入欄	【特記事項】項目1について、夜間や日曜日の積極的な講座開催、利用率が低い部屋のPR、講座見直しによる中止減など、多角的な取り組みで施設利用率を大幅に向上させた。広報強化による認知度向上も評価し、2点加点とする。項目2について貸出冊数が、令和6年度は基準値を満たしたが、令和7年度は基準値に達さなかったため、水準点より1点減点する。また、利用者前年比増加率、貸出冊数前年比増加率ともに加点基準に未達のため、加点はしない。			
	評価委員記入欄	【評価すべき点】学習施設利用率は63.8%と基準値・目標値をともに達成した。特に立地条件から利用の伸びなかった第3学習室を提案型の案内により54.9%まで向上させた点は、施設特性を踏まえた運営の工夫として評価する 【改善すべき点】図書館は貸出冊数が基準値に未達で減点となった。令和6年度に大きく増加した数値の反動があるとはいえ利用者数・貸出冊数とも前年度比で減少しており、来館促進の取り組みを貸出に結びつける工夫と、転入者の多い地域特性を踏まえた親子層・新規層への働きかけを求める。 【その他注意点】			

E　3分野連携事業	**3分野連携事業を計画通り実施しているか**		評価点		
			指定管理者	担当課	評価委員
	1	3分野連携事業が適正に実施されている ◆「関心喚起」「行動生起」「習慣化」の３種のプログラムの実施 ◆動機づけのための情報発信（プッシュ型情報発信）をしているか　など	5.0	5.0	5.0 （満点5点）
	指定管理者記入欄	【アピールポイント】分野間連携事業の認知度も向上しているなかで、決してマンネリ化に陥らないよう新規の気軽な体験事業を提供することで、新規利用者の開拓を行った。また、施設の特徴を活かした中庭での開催や、子どもの迎えが多く見られる17時以降の時間帯での開催も増加させることで、フリースペース利用の若い世代に参加いただくなど、新規参加者の獲得に結び付いた。さらには、イベント（ふれあいまつり）内にて、複数の体験会を実施。通常時よりも多くの方に参加いただくとともに参加されなかった方も「ぷち」プログラムの取り組みを知っていただく契機とすることができた。			
		【改善すべき点･課題等】新規の体験事業に加えて、継続して行うプログラムに関しても開催会場・時間の見直しや事業内容をブラッシュアップすることで新規利用者の開拓に結び付けたい。さらには、体験会参加にとどまらずそこから継続利用へと繋がる仕掛けにも取り組むことで、施設利用の活性化を図っていきたい。			
	区記入欄	【特記事項】中庭でのカヌー体験や体操など、特色を活かした視覚的PRで新規層の参加を促進。ふれあいまつりでの「ぷち体験」を通じた積極的な周知活動も実を結んでおり、その工夫を評価し水準点に2点加点とする。			
	評価委員記入欄	【評価すべき点】3分野連携講座56件・「読書→スポーツ」27回と基準を大きく上回って実施した。中庭でのカヌー体験や体操等の特色を活かした視覚的PRによる新規層参加の促進や、ふれあいまつりの「ぷち体験」を通じた積極的な周知活動や工夫も評価する。 【改善すべき点】体験会への参加から継続利用への接続はこれからの課題であり、指定管理者自身も認識しているとおり、継続につながる仕掛けづくりを期待する。 【その他注意点】			
F　主要事業の企画・実施・成果	**5カ年計画どおりに事業を実施し、計画通りの成果があったか（評価点×３）**		評価点×3		
			指定管理者	担当課	評価委員
	1	主要事業の実施 ◆アプローチ方法が効果的であるか			24.6 （満点30点）
	2	主要事業の成果 ◆当該年度の達成目標を達成しているか			
	指定管理者記入欄	【アピールポイント】年々広がりをみせているアートイベント「色あそびコラボ展」を出展者の増加（海外の方の個人出展など）に加えて開催会場も8施設から10施設に拡大し、地域に根付いたイベントとすることができた。さらに実行委員会のメンバー一体となったPR動画を作成することで、イベントの機運を高めるとともに、5カ年計画（シネマアートプロジェクト）となる共同の映像制作の一環とすることができた。			
		【改善すべき点･課題等】アートを通じて人が繋がることを目標に多くのアート系事業を実施するとともに映像制作に繋がる新規の事業にも着手することができた。今後もさまざまなジャンルのアートも取り入れるとともに、共同で作りあげていく作品にもチャレンジしていき地域の繋がりを深める事業展開としていきたい。			
	区記入欄	【特記事項】5カ年計画の機運醸成に努め、映像やコンサート事業等の多彩な取組みを展開した。各団体との連携により2年目として活動の広がりを見せており、その積極的な姿勢を評価する。3年目はさらなる広がりに期待する。			
	評価委員記入欄	【評価すべき点】5カ年計画「ほつかシネマティックアートプロジェクト」の2年目として、色あそびコラボ展を10会場・54グループ・来場延べ880名に拡大し、中学生や外国にルーツのある方の出展など地域の財産の掘り起こしにも結びつけた。その他の事業に関しても、子ども声優教室や映像づくり事業など、アートを通じてコミュニティを繋ぐ取り組みが進められており、これらのアプローチ方法実施を通じてコミュニティ作り、実行委員会発足を達成している点を評価する。 【改善すべき点】令和7年度の事業目標に掲げたプロジェクト実行委員会の発足について、色あそびコラボ展実行委員会との関係整理を含め、3年目に予定する実行委員会主催のイベント開催へ確実に移行できるよう体制づくりを求める。 【その他注意点】			

		利用者の満足を得られているか（評価点×２）	評価点×2 指定管理者	担当課	評価委員
G 利用者の満足度（評価点はアンケート調査による）	1	運営満足度 ◆職員の接客態度、説明や事務処理の的確さ		4.3（×2）	33.4（満点40点）
	2	施設維持満足度 ◆施設の清潔さ、使いやすさ、館内表示　など		4.7（×2）	
	3	事業満足度 ◆事業内容の充実、ミニコミ紙　など		4.0（×2）	
	4	利用効果 ◆センターでの活動効果、意欲の向上　など		3.7（×2）	
	指定管理者記入欄	【アピールポイント】現状に満足することなく、スタッフが向上心を持って日々の業務に丁寧に取り組んだ結果、全ての項目で満足度の高い評価を得るとともに、「感謝のお言葉」を多く頂戴するに至った。今後もこの評価を維持できるようスタッフ一同「まごころ」のこもったサービスを提供していきたい。			
		【改善すべき点･課題等】様々な要望にも耳を傾けて、当施設が地域の拠点として多くの方にとって居心地の良い空間となり、愛着をもっていただける施設運営を目指していきたい。			
	区記入欄	【特記事項】高い利用満足度を維持しつつ、フリースペースの多様な利用者への細やかな配慮を継続している。各々が快適に過ごせる環境づくりに努める姿勢を評価し、今後もさらなる満足度向上に期待する。一方で事業満足度については微減している。質の高い講座を実施していることから、更なる事業周知においても期待する。			
	評価委員記入欄	【評価すべき点】接客対応への「満足」との回答は学習センター80.7%・図書館81.7%、施設の清潔さも8割超と高い満足度を維持しており、「区内で一番のセンター」との声をはじめ感謝の意見が多数を占める。苦情・要望への検討・対応も丁寧に記録されている。 【改善すべき点】事業満足度は微減しており、質の高い講座を実施しているだけに、ターゲット層への周知方法の工夫による参加へのさらなる接続を期待する。 【その他注意点】女性トイレやバス停の設置、ブックポストの増設など区に関わる要望も複数寄せられており、所管課との共有を期待する。図書館では蔵書・新刊の充実への要望が多く、区内相互貸借の案内等での対応を求める。また、閉館後の返却ポスト利用時に中庭が暗く不安との声があり、安全面からも照明の検討をお願いしたい。			
合計点			117.0（満点130点）	143.4（満点=170点）	169.6（満点=200点）

特記事項（評価委員会による総合評価を記入）	「アートでコミュニティをつなげる」ための取組として、コラボ展の拡大やシネマひろばの定着、映像作成やコンサートなど昨年よりも活動が広がっている。学習支援、図書促進においても、世代対象、アプローチ先、連携先等、広い企画が検討され実施されており、特にセンター運営はほぼすべての項目で水準を上回る取り組みと成果が確認できる。8年度以降も更なる広がりを期待したい。

【評価委員会評価結果】

評価委員会評価結果	得点	評価	⇒	ﾗﾝｸﾀﾞｳﾝ	⇒	総合評価
	169	A		有 (無)		A

※評価結果は評価委員会が行う。
※小数点以下は切り捨て、整数とする。

【指定管理者への改善要望】
2-D項目2における減点項目について、貸出冊数が基準値に達していないため減点とする。前年度に大きく増加した数値の反動があるとはいえ、利用者数・貸出冊数とも前年度比で減少しており、出張おはなし会等で成果を上げている来館促進の取り組みを貸出に結びつける工夫とデータ分析に基づく親子層・新規転入層への働きかけを求める。

<評価委員会評価基準>

評点		評価基準						
満点	標準点	75%以上			～			54%以下
		A＋	A	A－	B＋	B	B－	C
200点	120点	180点以上	167点以上 179点以下	150点以上 166点以下	134点以上 149点以下	119点以上 133点以下	109点以上 118点以下	108点以下
得点率		90%以上	～	83%以下	67%以上	～	59%以下	54%以下

※「標準点」･･･評価項目が全て「３」（水準クリア）の評価を受けた場合の得点。
※「A」は満点の0.75倍以上（小数点以下切上）、「C」は満点の0.54倍以下（小数点以下切捨）とする。